家畜衛生情報

R8-19
令和８年１１月１２日

長崎県でランピースキン病の発生

【概要】

〇所在地：長崎県　五島市

〇発生農場：３農場

１１月９日に１農場から通報、発症牛2頭の病性鑑定実施

１１月１０日に２農場から通報、各発症牛１頭の病性鑑定実施

１１月１１日４頭を疑似患畜と決定

【今後】

疑似患畜４頭の殺処分

当該３農場の牛でワクチン接種

（その他ワクチン接種対象農場は協議中）

【症状など】

・牛、水牛が感染するウイルス性疾病
・人には感染しない
・発熱、四肢の浮腫、多数の皮膚の結節（こぶ状の病変）

【感染方法】

・主に吸血昆虫（蚊、サシバエ、ヌカカ、マダニ等）による伝播
・汚染された飼料、水、器具を介して感染
・感染した牛の移動により感染が拡大

【発生予防・侵入防止対策】

・吸血昆虫の駆除：殺虫剤の散布、粘着シートを活用
・ほかの農場で使用した器具などは持ち込まない
・車両の移動や飼養器具を農場外に搬出する際は農場出入口で消毒する

疑わしい症状を発見した際

及び、過去1か月程度に疑わしい症状を認めたことがある場合

疑わしい牛を隔離・生きた牛等の移動を自粛し、

速やかに診療獣医師、家畜保健衛生所にご連絡ください

中濃家畜保健衛生所　　美濃加茂市古井町下古井2610-1
TEL:0574-25-3111　　FAX:0574-27-3092

ランピースキン病の感染拡大防止！

MAFF 農林水産省

2026年11月1日に、**国内で２年ぶりに発生**が確認されました。

牛の伝染病で、主に**サシバエ等の吸血昆虫が感染を拡大**するため、昆虫対策が重要です。また、通報が遅いと考えられる事例が確認されています。疑わしい場合、すぐに通報することが大事です。

対策１　毎日の健康観察

早期発見・早期通報により、被害は大きく低減します。
丁寧に飼養牛を観察するとともに、**疑わしい牛は直ちに通報**しましょう！

疑わしい症状

食欲減退、発熱、
歩様異状、皮膚の結節
泌乳量の低下

最寄りの家畜保健衛生所に通報！







対策２　害虫の駆除

成虫対策と幼虫対策は両方行いましょう！

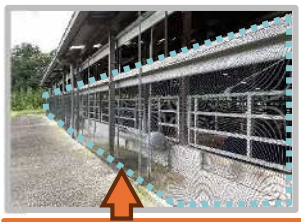
成虫対策には、**殺虫剤**ローテーション！**防虫ネット**の設置！



サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！



殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！





地面や床から２ｍは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！

幼虫対策には、**堆肥**等の管理！**IGR剤**の散布！

堆肥の切り返しは
隅々まで！

牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
子牛のいる牛床にIGR剤を散布！



対策３　清掃・消毒

車両や人がウイルスを運ばないように、出入りする際の**洗浄・消毒**！
車両は殺虫も！**注射針**、**人工授精用器具**等の**一頭ごとの交換・消毒**！

写真協力：鹿児島県内酪農家、(独)家畜改良センター宮崎牧場、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エランコジャパン株式会社